

低額見過ごせない！ 回答見過ごせない！

23春闘. 物価高騰上回る賃上げへ諸行動



山形駅前でアピールする県医労連の皆さん
最右は荻原議長



「かえるリーフ」をポスト
ィングする鶴岡の組合員

二三春闘集中回答指定日の翌日、三月九日には、県医労連が県内三か所でストライキ集会を開催。それぞれの地域の単組代表者らが参集して通行人に賃上げの必要性やストへの理解を求めてアピールしました。山

3.4 春闘共同学習決起集会

三月四日、県労連、県春闘共闘、県医労連共催の山形県二〇二三年国民春闘共同学習決起集会では、八〇人以上が参集の中、毎日新聞記者で元新聞労連委員長の東海林智（とうかいりんさとし）さんが講演。詐欺の「受け子」に身を落とす貧困層の実態にも触れ、賃上げの社会的意義を熱弁しました。



東海林氏の講演を聴く集会参加者ら

(二面に続く)

月額三万以上、時給一九〇円以上
物価高騰10%以上の賃上げを
上回る

形駅前集会に荻原圭子議長ら四人が、酒田市役所前の集会に斎藤陽一酒田飽海地域労連議長が連帯参加。荻原議長は「賃上げ要求・ストを地域に波及させよう」等と激励挨拶。鶴岡ではスト参加中の組合員ら三三人が地域に「かえ



酒田市役所前でアピールする
る県医労連の皆さん

るリーフ」(組合結成・加入等呼びかける全労連の宣伝物)五〇〇枚をポストィングしました。

政治も変えて賃上げ実現を！ 3.25 25県春闘共闘加盟組織代表者会議

山形県二〇二三年国民春闘共闘委員会は三月二十五日、加盟組織代表者会議を開催しました。

「初任給引き上げ」(農協労)、「非正規教職員の時給改善」(山大職組)等、使側が人材確保を求めて成果があった一方、全体では回答が物価高騰分に追いつかない到達も共有。コロナ禍減収の医療機関に必要な支援が行われず回答に影響する中「政治を変える」との発言も。国立病院機構の蓄積金の軍事費転用画策に

組合員参加・ストが打てる 組合へバーズ・ジョンアップを

県春闘共闘は十二月十日発足総会で二三春闘方針を採択し、荻原議長、菅家誠山形私教連委員長、西岡斉治県国公議長の三氏を代表幹事に選出。布施恵輔全労連事務局次長がオンラインで「アメリカの労働運動から学ぶ」と題し講演。教員組合のスト、アマゾンやスターバックスでの組合結成等を報告し役員が組合員に「サービスを提供する」のではなく組合員が自主的に活動を組織するスタイルが前進していると紹介しました。

抗した全医労の三十一年ぶりのストも報告されました。佐藤完治事務局長は、県内四つの経営者団体が賃上げ必要とする中、価格転嫁・国の支援強化が必要なこと、労働総研公表の最低賃金時給一五〇〇円の県内経済波及効果も踏まえ賃上げの社会的意義に確信が持てること等を報告。閉会挨拶で荻原圭子議長は「日本があちこちで壊れ暗澹たる気持ちになりそうだが、私たちの幸せのため声を上げよう」と奮起を呼びかけました。



ストについて話し合うパネラーと参加者



第3回フードドライブでの食料配布

生活困窮者支援・地域の要求実現運動 「取り組む労働組合を大きく！」

北村山地域フードドライブ通じて初の組合加入

フードドライブを通じ組合と結びついた女性が今年二月に初めて山形公務公共一般労組に加入しました。二〇二一年五月以来、北村山地域で継続中の、最低賃金改善や生活困窮者支援等を結集の旗印とした組織強化拡大の模索。「飛躍への重要な一歩」と関係者の間で期待が高まっています。

「ふりかえりの会」で対話

一月二十二日の「ふりかえりの会」には、十二月四日の第3回フードドライブのスタッフ十四人が参加。うち六人が、フードドライブで食糧支援を受けたことのある人、チラシを見て協力を申し出た人等一般応募ボランティアでした。萩原圭子議長は開会挨拶で「どうか県労連に力を貸してほしい」と組合加入を率直に呼びかけました。二つのグループ毎に、一人一人良かったことや反省点を紙に書き出して発言。そこから話し合いが深まりました。「回数を増やし開催地も拡げて」「自分は英語が

できる。通訳が必要な外国人技能実習生にも拡げたい」等積極的意見も。議論はアンケートや相談コーナーで寄せられた要求や悩みに応える取り組みに及びました。二月加入の女性は「この日、学童保育が利用できなかった等子育て政策への不満を語り「これからの人のために役立ちたい」等と発言。グループ討論で五十代の県労連役員（男性）は、「自治体キヤラバンで子どもの医療費無料化が年々拡がった」等と要求実現の展望を語り、フードドライブも要求実現運動も取り組む労働組合を大きくしたいと訴えました。ふりかえりの会終了後、組合に興味を示したこの女性と山形公共一般メンバーが連絡先を交換。その後分会の例会に参加しその日加入しました。

事前のミーティングも実施

十一月二十二日には準備の「ボランティアミーティング」も開催。支援を受けた経験のある一般応募ボランティアからは「食料等を



「ふりかえりの会」で話し合うボランティアスタッフら

もらうのを申し訳ないと思わず済むように」「会場前の行列が通行人に見られない工夫を」等率直な意見も受付で整理券を配って車中待機し呼び出しを待つ、子連れの来場者にお菓子をプレゼントする等の取り組みにつながりました。こうして開催された第三回フードドライブには約九十人が来場。約二年間同地域で中心的に関与してきた六十代の組合役員（男性）は「忙しくなったが活動参加は楽しい。色々な人との出会いから学ぶものもある」と語っています。

第四回フードドライブは五月二十七日大石田町で開催予定です。

市民連合やまがた推薦候補5人当選 山形県議選で政策協定

県労連が政治課題で日常連携している市民連合やまがたは四月九日投票の山形県議選で、安保法制廃止・大軍拡反対等の課題で六人の候補者と政策協定を締結し推薦しました。このうち五人が当選しています（以下当選者／敬称略）。山形市区（得

票数順）：松井愛（立民）、石川渉（共産）／寒河江・西村山郡区：橋本彩子（無所属）／酒田・飽海郡区：石黒覚（立民）／鶴岡市区：関徹（共産）／（新庄市区の叶内恵子氏（無所属）は惜敗）。
自民党が県全体で2議席増やし県議会過半数を維持しました。組合員・労働者の要求実現のためには、運動の一層の強化・野党共闘再構築が求められます。
市町村議会議員選挙は四月二十三日投票です。

生きるための闇バイトに手を染める人 なくすための賃上げ要求たたかいを

（一面 春闘共同学習決起集会の続き）

東海林氏は、東京都庁下で続けられる食糧支援活動には若者、シングルマザー、高齢女性が増えている中、詐欺の受け子等「闇バイト」は逮捕の可能性があっても「生きるため」に手を染める人がいることに触れ、これをなくすためにも一〇％、月額三万円、時給一九〇円の賃上げを社会に拡げることが必要だと訴えました。
首都圏青年ユニオンの組合員が、ケーキ製造繁忙期を報告し決意表明しました。